

H29 年度 第 2 回学校運営協議会より

11月16日(木)に今年度第2回目の学校運営協議会を開催しました。前半の協議、「地域協働による防災体制づくり」では、地震で新休橋が崩落した場合、発災直後に本校が避難所としての役割を果たすことになった時を想定して、避難して来られた地域住民の方々と本校児童生徒で、校舎内の教室やトイレ等をどのように使用していくかについて、校舎地図をもとに考えていきました。今回も天草市防災危機管理課や天草広域連合中央消防署の方に参加していただいたことで、「本校運動場の芝生がドクターヘリの離着陸に使用できること」や「女性専用スペースの必要性」、「児童生徒と地域住民のスペースを明確にしておくことの必要性」等、具体的なアドバイスをいただくことができました。後半は、3つのサポートコミュニティに分かれ、4～10月までの取組についての中間報告と評価、3月までのプランについての確認や改善点について協議を行いました(下表参照)。6月の第1回学校運営協議会で立てた計画(Plan)、各サポートコミュニティでの取組(Do)、そして、今回の評価(Check)及び改善(Action)という、一連のPDCAサイクルをととして、本校のコミュニティ・スクールの有用性が明らかになりつつあります。学校運営協議会委員の皆様のおかげで、本校が少しずつ一步一步前進していることを感じるひとときとなりました。



あいサポート コミュニティ

Check 1

今年度の課題	天支サポーター体制の構築	○
	情報共有体制の構築	○
	防災意識の醸成	○
	地域防災への参加	○
今年度の目標	本校の教員や子どもたちの学習活動について知ってもらえるよう発信する	◎
	「まなびサポートコミュニティ」と連携しながら、天支サポーター登録者を増やす	○
	「心まなび」の推進を図り、保護者の理解を得る	○
	「心まなび」サポートコミュニティと連携しながら、地域防災への取組を推進する	○
天支サポーター	「あーふる」や「まなび」で子どもたちに合わせて作品や作業製品の紹介をする	○
実施したいこと	「地域の防災」と一緒に活動(月1回以上)	△
	「子ども支援委員会」に協賛している代表を	×

成果と課題 (H29.11現在)

- 【情報発信】
- 「ハートフル通信」(校長便り)があることで、取組がわかりやすい。
 - 天支ケーブルテレビでの学校PR
 - ▲開催なくあつたため取組の検討。(楽しいイベントとしての視点)
- 【O B会との連携】
- 「心まなび」を作ったことで連携が生まれた。
 - ▲活動がなかなか、連携が取りにくい。
- 【地域行事】
- 新しい行事(リレー等)への参加。
 - 「防災部」の立ち上げ。
 - 使用する避難所の一覧を作った。
 - ▲「防災部」としてどう取り組んでいくか。
 - ▲防災の取組を地域に発信する。

H29.11～3の行動プラン

- ※別冊
- 就業・生活支援センターと連携しながら、企業開拓を地道に行い、情報を共有する。
- ※地域のコミュニティ作りのために核となる民生委員さんとの連携
- 本校児童生徒のことを民生委員さんが把握しているのかについても確認
- ※天支版SOSカードの作成
- 福祉サービス等の関係機関が作成しているものを持ち寄り、情報を共有する。
- ※学校がどれだけ地域に開かれているかが大切。



まなびサポート コミュニティ

Check 1

今年度の課題	地域連携の推進	○
	地域連携の推進及び地域貢献の視点に立った関係性構築の作成と実施	◎
今年度の目標	地域資源(人材・場所・もの)の情報収集を行い、連携をとりながら実施する。	○
	一人ひとりの役割を明確にし「まなび」で連携する「1」	○
天支サポーター	本校の老人会の方々と一緒にランチ交流会やグラウンドゴルフ大会をして、お互いに交流を図る!	△
実施したいこと		

成果と課題 (H29.11現在)

- 年間指導計画に基づき、各学部で地域資源を活用した授業実践を行うことができた。
- ゲストティーチャーや協力機関など、新規の天支サポーターの登録があり、少しずつ地域人材を活用した学習が進展している。
- 教師が地域資源の活用を意識することで、授業内容の充実や広がりが見られている。
- 天支サポーターさんの授業でのかわりには、本校の子どもたちについての理解へもつながっている。
- ▲本校の老人会の方々とふれあい学習を通した、お互いが笑顔で元気になるWin-Win関係作りができれば、...

H29.11～3の行動プラン

- ※年間指導計画に基づいた授業実践を確実に行う。
- ※本町の方々の様々な情報提供をもとに、授業づくりを行っていく。
- ・森田さん・・・オープンガーデン
 - ・杉本さん・・・写真家 P Cにも詳しい
 - ・四丸さん・・・ビデオ編集
 - ・野島さん・・・ニュースポーツ
 - ・維新之蔵・・・ケーキ作り



くらしサポート コミュニティ

Check 1

今年度の課題	児童生徒の居住地域の生活状況の把握と支援体制づくり	△
	居住地域での保護者のつながり	○
今年度の目標	居住地域におけるコミュニティ(親の会や福祉サービス利用等)における役割、支援体制をつくる	○
	各避難所が備えている方への対応ができるかを把握し、一層をまとめる。	○
天支サポーター	「くらしサポートマップ」に、防災の項目を入れる。(学校、家庭、高齢者、障害者、児童生徒の場での対応について)	△
実施したいこと	「事業主や保護者の講演会を実施する	△

成果と課題 (H29.11現在)

- 教育支援計画に「防災」の項目を追加。
- 児童生徒の避難先の把握(一覧表の作成)
- ▲支援学校や支援学級の児童生徒及びその家族が一次避難所を利用することは難しい現状がある。天支が(福祉)避難所になることは難しいことなのか、必要に応じて橋の整備や土砂災害対策等ができるのか、各小中学校の支援学級を福祉避難所として確保することができているかどうか等について、市町と検討する必要がある。
- ▲親の会や福祉サービス等の利用におけるコミュニティと連携していくことも大事だが、それでは障害を持った子どもたちの保護者同士のつながりのみになってしまう。居住地域のコミュニティにつながるには、障害をもっている子どもへの理解が進み、地域にある避難所への避難もしやすくなるのではないかな。

H29.11～3の行動プラン

- ※別冊
- 就業・生活支援センターと連携しながら、企業開拓を地道に行い、情報を共有する。
- ※地域のコミュニティ作りのために核となる民生委員さんとの連携
- 本校児童生徒のことを民生委員さんが把握しているのかについても確認
- ※天支版SOSカードの作成
- 福祉サービス等の関係機関が作成しているものを持ち寄り、情報を共有する。
- ※学校がどれだけ地域に開かれているかが大切。



12月の主な予定

- | | | |
|---------------------|----------------------|-------------------------|
| 1日(月)本渡中との交流(中) | 10日(日)～12日(火)修学旅行(高) | 19日(火)マラソン大会(高) |
| 4日(木)全校集会 | 12日(火)本町小交流(小) | 20日(水)GT井立先生とのふれあい集会(小) |
| 5日(火)校外学習:アレグリア(高3) | 13日(水)くすのき交流(中1) | 22日(金)終業式 |
| 7日(木)マラソン大会(小・中) | 校外学習:サンリブ(中3) | |

